

科目名 (英)	介護実習Ⅰ-② (Nursing Care Practice Ⅰ-②)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	①西村 弥生 / ②藤木 里奈
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	112	開講区分	後期
【授業の学習内容】							
<p>社会福祉現場における専門職としての専門知識や技術を具体的な経験を通して、実践の応用能力が習得できる。 個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解ができる。 利用者の主たる生活の場である高齢者・障害児者施設等でありのままの利用者の生活の状況を学ぶ。利用者の1日の生活のサイクルを体験し、生活の連続性について学び、介護福祉士の役割を体験的に学ぶ。学びは記録に残し、他学生とその感じ方を共有し、受容と共感の実践的学びが理解できる。 ※実務者経験: 医療機関に所属していた。主業務は内科及び急性期医療部門を担当していた。※取得資格: 看護師 ②福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格: 介護福祉士</p>							
【到達目標】							
<p>利用者の1日の生活のサイクルを体験し、生活の連続性が理解できる。また介護福祉士としての生活の場における役割を理解し、受容・共感の姿勢が実践できるようになる。また記録の重要性についても理解できる。</p>							

授業計画・内容

1回目	入所型施設における利用者の生活の状況が理解できる①。
2回目	入所型施設における利用者の生活の状況が理解できる②。
3回目	入所型施設における利用者の生活の状況が理解できる③。
4回目	入所型施設における利用者の生活の状況が理解できる④。
5回目	入所型施設における利用者の生活の状況が理解できる⑤。
6回目	入所型施設における利用者の生活の状況が理解できる⑥。
7回目	入所型施設における利用者の生活の状況が理解できる⑦。
8回目	入所型施設における利用者の生活の状況が理解できる⑧。
9回目	入所型施設における利用者が望む生活について理解できる①。
10回目	入所型施設における利用者が望む生活について理解できる②。
11回目	入所型施設における利用者が望む生活について理解できる③。
12回目	入所型施設における利用者が望む生活について理解できる④。
13回目	入所型施設における利用者が望む生活について理解できる⑤。
14回目	入所型施設における利用者が望む生活について理解できる⑥。
15回目	入所型施設における利用者が望む生活について理解できる⑦。
16回目	入所型施設における利用者が望む生活について理解できる⑧。
17回目	対象者の生活の連続性について理解できる①。
18回目	対象者の生活の連続性について理解できる②。
19回目	対象者の生活の連続性について理解できる③。
20回目	対象者の生活の連続性について理解できる④。
21回目	対象者の生活の連続性について理解できる⑤。
22回目	対象者の生活の連続性について理解できる⑥。
23回目	対象者の生活の連続性について理解できる⑦。
24回目	対象者の生活の連続性について理解できる⑧。
25回目	介護福祉士の役割を体験的に理解できる①。
26回目	介護福祉士の役割を体験的に理解できる②。

27回目	介護福祉士の役割を体験的に理解できる③。
28回目	介護福祉士の役割を体験的に理解できる④。
29回目	介護福祉士の役割を体験的に理解できる⑤。
30回目	介護福祉士の役割を体験的に理解できる⑥。
31回目	介護福祉士の役割を体験的に理解できる⑦。
32回目	介護福祉士の役割を体験的に理解できる⑧。
33回目	学びを記録することができる①。
34回目	学びを記録することができる②。
35回目	学びを記録することができる③。
36回目	学びを記録することができる④。
37回目	学びを記録することができる⑤。
38回目	学びを記録することができる⑥。
39回目	学びを記録することができる⑦。
40回目	学びを記録することができる⑧。
41回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる①。
42回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる②。
43回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる③。
44回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる④。
45回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑤。
46回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑥。
47回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑦。
48回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑧。
49回目	利用者、職員の方々との円滑なコミュニケーション方法について理解できる①。
50回目	利用者、職員の方々との円滑なコミュニケーション方法について理解できる②。
51回目	利用者、職員の方々との円滑なコミュニケーション方法について理解できる③。
52回目	利用者、職員の方々との円滑なコミュニケーション方法について理解できる④。
53回目	利用者、職員の方々との円滑なコミュニケーション方法について理解できる⑤。
54回目	利用者、職員の方々との円滑なコミュニケーション方法について理解できる⑥。
55回目	利用者、職員の方々との円滑なコミュニケーション方法について理解できる⑦。
56回目	利用者、職員の方々との円滑なコミュニケーション方法について理解できる⑧。
準備学習 時間外学習	準備学習…「介護総合演習Ⅰ」の授業が実習の準備学習になるため、教科書の内容を熟読し、理解しておく必要があります。 時間外学習(復習)…実習中は、各科目の教科書や文献を熟読し、疑問に思う点についてはその都度、解決を図る行動を求めます。
評価方法	実習評価表、実習日誌の記載内容および巡回指導時の指導内容で評価します。成績の評価は、100点満点とする。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：新・介護福祉士養成講座⑩「介護総合演習・介護実習」（中央法規出版）	